



晩秋の鳩山を駆け抜けた

第31回鳩山駅伝大会

12月1日、第31回鳩山駅伝大会が開催され、町内外から参加した45チームが、秋晴れと声援の下、たすきをつなぎながら、力強く駆け抜けました。

たすきを受け取る選手
(一部・第1中継所)

【第1部 一般の部 (参加：23チーム)】第1位：坂戸西高等学校A (43分05秒)、第2位：鳩山高校運動部選抜A (43分05秒)、第3位：発泡酒友の会 (43分55秒)

【第1部 女子の部 (参加：5チーム)】第1位：坂戸西高等学校女子B (50分53秒)、第2位：坂戸西高等学校女子A (52分45秒)、第3位：鳩中テニス部後衛チーム (1時間03分37秒)

【第2部 少年の部 (参加：12チーム)】第1位：東松山陸上スポ少 (32分39秒)、第2位：嵐山ウイングススポーツ少年団 (35分01秒)、第3位：亀井サッカー今宿小 (37分20秒)

【第2部 一般の部 (参加：5チーム)】第1位：東松山陸上スポ少父母会 (32分45秒)、第2位：あまちゃん (女バスA) (36分20秒)、第3位：鳩山高校教職員B (39分00秒)

秋の実りを堪能

農村公園でいも煮会



11月16日、農村公園で毎年恒例の「いも煮会」が開催され、多くの方が地元産野菜の入ったいも煮など、秋の実りを堪能しました。

参加者は、体験農園で無農薬・無化学肥料栽培されたサトイモやニンジンなどを使ったいも煮や黒豆を使用した呉汁のほか、同園産のもち米を使い、この日子ども



もちつきを楽しむ子ども

たちがスタッフと一緒についたもちを味わいました。

会場では、新鮮な野菜を景品にした〇×クイズとじゃんけん大会も行われ、参加者の皆さんは、一喜一憂しながら晩秋の一日を楽しみました。

わだ い

明るいまちづくりを目指して

人権問題を考える町民の集い



人権問題について町民みんなで理解を深めようと、12月7日、町文化会館で「人権問題を考える町民の集い」が開催されました。

鳩山中学校吹奏楽部の演奏によるオープニングの後、町内の小・中学生4人による人権作文の朗読や、落語家の林家 染二師匠による講演と落語が行われました。

参加者は、生徒たちの純粋でまっすぐな心が伝わる人権作文や、林家師匠の、人を幸せにする笑顔と人情味あふれる優しさについての講演を熱心に聞き入っていました。講演後に行われた落語では、会場に笑顔があふれていました。



講演を行う林家染二師匠



(左から) 西山さん、高橋さん

税についての理解を深める

税に関する作文表彰式



11月18日、町役場で税に関する作文表彰式が行われ、高橋 知盛さんが鳩山町長賞を、西山 遼さんが東松山地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞されました。

この作文は、税について理解を深めてもらうため、東松山税務署と東松山地区租税教育推進協議会が、管内の中学生と高校生を対象に、税に関する作文を募集しているもので、今年は16校から859件の応募がありました。



秋の鳩山をさわやかに歩く はとやま散歩2

11月26日、鳩山町保健推進協力委員会主催の健康ウォーキング「はとやま散歩2」が開催され、44人が参加しました。

この日のコースは、多世代活動交流センターを出発し、地球観測センターと石坂の森、東松山市民の森を経由し、物見山までを往復する約8kmのコース。秋晴れの下、参加者は紅葉で色づいた景色を見て、会話をはずませながら、さわやかな汗を流しました。



秋の景色を楽しみながら歩く参加者の皆さん

「はーとん」オリジナル ナンバープレートの交付開始



町のイメージキャラクター「はーとん」をモチーフとした、原付バイクなどのオリジナルナンバープレートの交付が12月2日から始まり、早朝から数人がナンバープレートを求めて町税務課窓口に来庁しました。

ナンバープレートは、多くの人に鳩山町を知ってもらい、愛着を深めてもらうとともに、「安全運転でいつまでも健康に過ごしてほしい」との願いを込めて作製したもので、無料で交付が受けられます。



小峰町長よりオリジナルナンバープレートを交付

ま ち の



体内糖化度について説明を受ける参加者

自分の健康は自分で守ろう

「K-1測定2013」を実施

11月16日、自主的に健康づくりに取り組むきっかけとしてもらうため、東京都健康長寿医療センターと大東文化大学などの協力のもと、「K-1（健康が1番）測定2013」が町ふれあいセンターで行われ、町内から延べ約500人の方々が訪れました。

会場では、骨密度、動脈硬化度、聴力、体内糖化度、ストレス度を測定し、参加者は、自分の体の健康状態を確認したほか、地域活動支援センター「はばたき」の皆さんによる手作りお菓子の販売にも目を留めていました。

さまざま立場の方々が交流

第18回ふれあい広場



11月17日、町中央公民館で第18回ふれあい広場が開催され、子どもからお年寄り、障がいのあるなしに関わらず、さまざまな立場にある方々が集まり、催しや体験を通じて交流を深めました。

会場では、踊りや手話による歌、童謡や吹奏楽、さらには踊 正太郎さんによる津軽三味線などの



ダンスで交流する皆さん

ステージが行われたほか、模擬店や車いす体験、アニマルセラピー、コマ回しや将棋などを通じて、世代や立場を超えて交流する姿が多く見られました。また、町の福祉に貢献した方々の表彰式も行われました。